

## 特集 3

企画展

## 縄文 S・F

遺跡から出てきたモノには、土器や石器のほかに、正体不明だったり変な形をした謎の遺物があります。手間ひまかけて使いにくそうなモノを作ったりする縄文人たちのS・F(すこし・ふしぎ)なモノ作りは何のために行われていたのでしょうか。また、S・F(すこし・ふしぎ)な形は何をイメージしていたのでしょうか。

こうしたS・F(すこし・ふしぎ)なモノを集めた展示会です。普段見る縄文の世界とは少し違った不思議な世界をお楽しみください。

## S・F(すこし・ふしぎ)なカタチ

手間ひまかけて作ったのに  
使いづらそうなカタチ



ハート形土器(タプコブ遺跡・縄文晩期)

詳細 美術博物館  
☎ (35) 2550

## S・F(すこし・ふしぎ)なオオキサ

大小オオキサの違うモノ



ミニチュア土器(静川22遺跡、静川8遺跡、柏原5遺跡・縄文時代)

## S・F(すこし・ふしぎ)なツカイカタ

ツカイカタがよく分からないモノ



棍棒形石器(静川37遺跡・縄文中期か)

**会期** 7月11日(土)～8月30日(日) **休館日** 月曜日 ※7月20日(月)=開館 21日(火)=休館

**夜間開館** 7月25日(土)、8月29日(土)は20時まで開館(最終入館は19時30分まで)

**開館時間** 9時30分～17時(最終入館は16時30分まで)

**会場** 美術博物館 第1・2展示室

**観覧料** 一般=300(240)円、高大生=200(140)円、中学生以下=無料

※( )内は10人以上の団体料金。年間観覧券での観覧可 ※併せて常設展、収蔵・中庭展示も観覧できます